



令和3年度(2021年度)

学校経営構想

令和3年4月1日

真岡市立亀山小学校

創立37年目
昭和60年4月1日

学級数：14学級(通12、知1、情1)
児童数：280名 54, 45, 46, 51, 45, 39

憲法、教育基本法、学校教育法、
学校保健安全法、学習指導要領等

市教育目標

- 1 心身ともに健康で、値よい心と実践力を持つ、たくましい人になる
- 2 すすんで働き、誠実で心豊かな、たのしい人になる
- 3 ものこを正しく見つめ、すじまちを立てて考え、想像力のある人になる
- 4 互いに尊重しあい、規律と責任を重んじ、正義をつらぬく人になる
- 5 国土や文化を愛し、郷土の発展につくす人になる

児童の実態
長所：元気で明るく素直でやさしい
男女、学年をこえて仲がよい
課題：自分の考えを表現するのが苦手
受け身の周りの意見に流されやすい

地域・保護者の実態
強み：一校一区、子どもを地域で育てる意識
学校やPTA、地域が活動に協力的
学校林や農園、水田などよい環境
課題：良好な協体制の維持・継続

も
お
か

もう一步、努力する心
思いやりの心
感じ、考え、学ぼうとする心

学校教育目標

かしこく 自ら考え進んで学ぶ子 やさしく 思いやりがあり心豊かな子 たくましく 健康で気力にあふれた子

(愛され伸びていくために)めざす児童像(学校教育目標分析)

- ・けじめがあり決まりを守る子(節度)
- ・自分の考えをはっきり伝える子(判断力)
- ・よいと思うことを選んでできる子(自律)
- ・自分のよいところに気付かす子(個性伸長)
- ・気持ちよいあいさつや返事ができる子(礼儀)
- ・相手のことを考え親切に行動できる子(思いやり)
- ・住んでいる地域や学校を大切にできる子(郷土愛)
- ・みんなとともにみんなのために働く子(公共心)
- ・健康に注意し病気がけがをしない子(健康)
- ・自分でできることは自分でやる子(自立)
- ・自分で決めたことを最後までがんばる子(根気)
- ・新しいことにも前向きに挑戦できる子(向上心)

「社会に順応し、個性を活かして主体性を発揮する」ために学校教育全体で育てたい資質・能力

知識・技能：読む・話す・聞く・書くのコミュニケーションを図る基礎となる言葉の働きや役割、きまりと使い分けを理解するとともに、問題を発見し解決するために必要な情報を収集し適切に活用できる技能を養う。
 思・判・表：情報を吟味・関連付けることで新たな価値を見だし活用する力、自分の考えを根拠をもとに目的や場面・状況等に応じて相手意識をもってわかりやすく表現する力を養う。
 主体性・人間性：自分のものの見方や考え方を広げ深め、自己や他者を尊重し他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図り、心身を鍛え最後まで粘り強く努力する態度を養う。

学校課題(研究課題)

「自ら発信しようとする児童の育成」
～主体的学習を促す言語活動を意識した国語科・算数科の授業の工夫～

めざす学校像 明るく生き生きとした学校

- ・一人一人が個性を生かし輝く学校
- ・明るく優しい言葉が聞こえる学校
- ・元気で前向きな活動が見える学校

めざす教職員像

- ・子供たちへ愛情深い教職員
- ・地域・保護者に誠実な教職員
- ・子供とともに学び続ける教職員

学校経営の方針

- 1 教員の協働的な授業改善研究により、主体的・対話的で深い学びを実現する授業をめざす <確かな学力>
- 2 様々な人とのふれあいや体験活動により、思いやりのある児童の育成をめざす <豊かな心>
- 3 様々な体育的活動の関連付けにより、目標をもって運動に親しむ児童の育成をめざす <健やかな体>
- 4 保護者・地域社会・関係機関との連携・協働により、社会に開かれた教育課程の実現をめざす <連携・協働>
- 5 危機管理意識の共有と体制の確認により、安心で安全な学校環境の維持・充実を図る <危機管理>
- 6 全教職員の経営参画により、組織的で効率的な学校経営をめざす <チーム学校>

本年度の努力点・具体策(○は今年度の重点)

<確かな学力> 1 主体的、対話的で深い学びを実現する授業	<豊かな心> 2 思いやりのある児童の育成	<健やかな体> 3 目標をもって運動に親しむ児童の育成
(1) 新学習指導要領の確実な実施 ・身に付けさせたい資質・能力の明確化 ・教科横断的な視点にたった指導の工夫 ○基礎的・基本的な学習の充実と定着 ・プログラミング的思考を育てる指導の工夫 (2) わかる・できる・定着する授業の展開 ・学びに向かう視点でのねらい設定の工夫 ・ねらいの達成に有効な話し合い活動の工夫 ○発表する場面の設定と指導過程の工夫 ・学びの定着を図る意図的な振り返りの実践 ・TT指導、少人数等の指導法の工夫 ○1人1端末(タブレット)活用の工夫 (3) 学校課題解明のための校内研修の充実 ・学力向上推進リーダーとの授業改善の継続 ○主体的学習を促す言語活動を意識した授業改善の継続 ・各種調査結果を活用した弱点の強化 ・一人一授業、授業研究会の計画的実施	(1) 基本的な生活習慣の育成 ○あいさつ運動の充実 ・生活のしおりの指導の徹底 ・清掃指導の継続(無言清掃) ○おはようタイム(無音タイム)の徹底 (2) 道徳教育の充実 ・考え、議論する道徳授業の工夫改善 ・異年齢集団活動(なかし組)の積極的活用 ・読書指導の推進(読み聞かせ、図書館活用) (3) 自己有用感を感じさせる集団づくり ・係・当番・委員会活動の工夫・改善 ・個性や特技を生かせる学校行事等の工夫 ○高学年を中心にしたリーダー性の育成 (4) 豊かな体験活動の推進 ・学校田・農園活動等の推進 ・福祉教育の推進(高齢者とのふれあい等)	(1) 教科体育の充実 ・活動量の確保と補強運動の工夫 ○新体力テスト結果を踏まえた授業の工夫 (2) 体力づくりの工夫と計画的実施 ・教科体育と各種活動を結びつけた活動の工夫 ・体育集会(業間活動)の充実 ・昼休みの工夫、外遊び・各種検定挑戦の奨励 (3) 保健・健康指導の充実 ○新型コロナウイルス感染症対策の徹底 ・基本的な衛生習慣と生活習慣の確立 ・安全を意識した食に関する指導、給食指導 ・性教育、薬物乱用防止教育の計画的推進 ・安心感を持たせる保健室環境の維持
<連携・協働> 4 社会に開かれた教育課程の実現	<危機管理> 5 安心で安全な学校環境の維持・充実	<チーム学校> 6 組織的で効率的な学校経営
(1) 教育課程編成方針の共有 ○地域・学校関係各種組織との継続的な連携 (亀山、学校評議員、学校保健委員会、青少年健全育成連絡会、後援会、PTA等) (2) 地域教育力の活用と教育課程への位置付け ・地域人材の授業支援への活用 ・地域教材、施設の活用 ○地域各種団体との連携・協体制の再構築 ・学校支援ボランティアの組織的運営 (3) 積極的な情報公開 ・学校自由参観の実施の工夫 ・各種たより、学校ホームページの活用	(1) 安全管理の徹底 ・危機管理マニュアルの共通理解と随時改善 ・安全点検結果の活用と事故防止の指導 (2) いじめ・不登校等の未然防止への取組 ・生活アンケートの計画的実施 ○教育相談週間や個人懇談の有効活用 ・日常の情報交換と早期発見への努力 ・児童指導ケース会議等の随時開催 (3) 危険回避能力の育成 ・避難訓練の計画的実施と工夫・改善 ・交通安全指導、登下校指導の徹底	(1) 評価を生かした学校づくり ・学校評価、行事評価等を活用したカリキュラムマネジメント ・教職員評価制度による目標管理と実践 (2) 教育活動への組織的対応 ・学習指導部、児童指導部を中心に据えた運営 ・学年主任会での発案や意見交換の重視 ○担任どうしの指導教科交換の推進 ・SC、SSWや外部機関との連携強化 (3) 勤務時間短縮を目指す業務改善 ・各種会議等の効率的運営 ・職務遂行の効率化による勤務時間の短縮